

2023年4月19日



「大谷塾ゼミ通信」 ～十勝を世界一の地域に～

「高校生が十勝の力に」

「十勝のために何かできることはないか、地域活性化に携わる活動ができないか・・・」

そんな思いを胸に本活動はスタートしました。高校生という立場から、「人のために」という思いを持って取り組み、十勝の魅力を発信していきます。

今回は、「帯広市図書館」さんにお伺いしました！

○帯広市図書館の始まり

図書館法に基づく、条例によって設置された公立図書館として平成18年3月3日に、他の街と違い駅の近くに建てられた。

この図書館には約50万冊の本が収蔵されており、新刊は発行してから2～3ヶ月で入荷し、1年で約1万冊追加される。古くなった本（情報が古いなど）は除籍されて壊れていけば捨てて、無事であればリサイクル本として持ち帰ることができる。

○帯広市図書館のサービス

本の貸出の他にも、街の歴史・建造物の資料など本以外の情報を管理している情報提供サービスや、ナウマン号という移動図書館バスといった地域サービスを提供している。

さらに目の見えない障がい者や乳幼児に向けて朗読を行ったり文字の大きい本をしている。

そして、帯広市図書館は2021年4月1日より電子図書館を利用でき、約2万6000冊の本を貸出している。

○職員さんが大切にしていること

お客さんとは誠意を持ち相手の気持ちに立って接することを大事にしている。

頑張った分だけ市民の皆さんへのサービスに還元されて、それを感謝を伝えられるととても嬉しくやりがいも感じる。

今回様々なお話を聞くことができ、有意義で楽しい時間を過ごせました。

「帯広市図書館」さん、ご協力本当にありがとうございました！